

みぬま見聞館だより No.54

令和元年12月1日発行

【“ヌウ” & 見聞館キャラクター “クリンちゃん” より】

10月12日の台風19号の影響で、芝川の水位が上りもう少しで危ないところでしたが、災害をのがれることができました。

被災された方の一日も早い復興をお祈りいたします。

台風が去った後の庭園は、スズメバチやトンボなどの数が異常に減ったことを感じます。

10月18日渡り途中のツツドリに会うことができました。



ツツドリ

ワタを栽培してみました！



①ワタの花



②はじける前



③はじけた後



④さらに分かれる



⑤コットンボールを開く



⑥中に入っていた種子

今年は職員がワタの栽培に挑戦しました。写真は、ワタの花①と実がはじける前②、実がはじけた後③です。花はクリーム色の綺麗な花で、すぐにしぼんでしまいます。

花がしぼんだ後、写真②のようになり、はじけて写真③⇒④のような状態(コットンボール)になります。⑤1つのコットンボールにつき25～35個の⑥種子を形成します。

はじけた後の姿が、白い花に見えるため、綿花と呼ばれています。

実を包む綿毛が布地やふとん綿の原料となります。アオイ科の植物です。

メタセコイヤの実

スギ科の落葉高木で公園や校庭によく植えられています。葉は秋には黄褐色に色づき、球果は秋に熟します。みぬま見聞館では実をよく乾燥させ着色して、工作に使用しています。



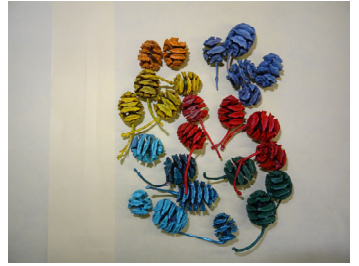
メタセコイヤの木



木の上部に沢山の實



葉と實



着色した實

アカマツの実 (松ぼっくり)

マツ科の常緑高木で樹皮は名のとおり赤褐色で、老木になると樹皮が亀甲状に裂ける。山野や公園に見られ、乾燥に強いです。みぬま見聞館ではこの実を使って、松ぼっくりツリー工作に利用しています。(12月中クリスマスまで工作できます。在庫の限り)



アカマツの木



木の先端に沢山の實



松ぼっくり



松ぼっくりを使ったツリー

幼稚園・保育園で出前講座を行いました

皆さまのところへ職員が伺い、生き物とのふれあい体験など、自然に親しんでもらう出前講座を開設しています。写真は針ヶ谷保育園、三橋保育園、常盤北保育園、上大久保保育園、東仲町保育園、本太保育園で出前講座を行った時の写真です。その他ふらっと保育園、ひなたぼっこ保育園、辻わくわく子どもの家、ひだまり保育園、たんぽぽキッズ、本太放課後児童クラブでも行いました。講座の内容は相談に応じます。是非、ご利用ください。



針ヶ谷保育園



三橋保育園



常盤北保育園



上大久保保育園



東仲町保育園



本太保育園

浅嶋先生のワンポイント教室

みぬま見聞館だより No3 7号(平成27年9月号)より『ワンポイント教室』を執筆されていた浅嶋先生が見聞館だより No5 3号の原稿を寄稿後ご逝去されました。これまでの本誌に対するご厚誼に感謝するとともに、謹んで故人のご冥福をお祈り申し上げます。

第19回環境フォーラム、第16回みどりの祭典が開催されました

10月11日に『第19回さいたま市環境フォーラム』が、さいたま新都心東西自由通路において開催されました。大宮南部浄化センターもクリーンセンター西堀とブースを展示し、水環境の大切さを伝え、あわせて自然庭園の紹介及び木の実を使った簡単な工作を行いました。また、12日のステージでは「自然観察・環境学習会」の時に自然庭園で撮影した写真を小学生10人に発表してもらって予定でしたが、台風19号の影響で12日の開催が中止となりました。

10月20日、見沼グリーンセンター（市民の森）で開催された『第16回みどりの祭典』にも参加しました。

当館では、庭園で見られる見沼の生き物のパネル展示を行い、いくつかの身近な生き物を実体顕微鏡を用いて観察していただきました。また、晴天に恵まれ木の実を用いた工作を様々な年齢の方々が楽しんでいました。



工作中



本部裏観察会の写真展示



清水市長挨拶

出展ブース

エゾカタビロオサムシ

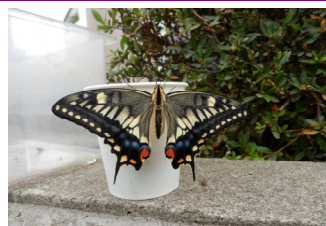


みどりの祭典中ブース前広場で、子供がかわった甲虫を見つけました。

「さいたまフレンド」の方に聞くと、図鑑で調べてくれ、「エゾカタビロオサムシ」という名前が判明しました。とても綺麗な金属光沢で、ハサミで指を挟まれました。私は、オオオサムシは見た事がありました

ましたが、初めてお目にかかりました。

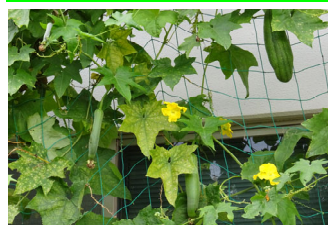
キアゲハの幼虫サナギへ



キアゲハ幼虫がサナギに変化する写真です。

キアゲハは、ミツバ、セリなどの臭いの強い草を食草とします。現在、サナギで越冬準備中です。

みどりのカーテンでヘチマを育てました



タネからヘチマを育てました。大きなものは、長さ50cmを越えました。輪切りにして茹でると、皮が簡単にむけヘチマタワシができました。

幼児政策課の保育者研修が行われました！

10月28日に、幼稚園教諭・保育所保育士、認定こども園保育教諭等が幼稚園・保育所等における様々な課題に対応し、保育の専門性を高めるための実技研修の一つ「幼児の自然に対する興味・関心を育てるための自然体験」が行われました。庭園で生き物に触れたり、自然素材を使ったリース作りを行いました。



庭園で生き物体験



自然素材のリース作り



皆さん自慢の作品です

団体見学がありました！



①施設見学



②施設見学



③親子でドングリひろい



④パネルシアター

①8月29日 ジャイカ がいこく
方が施設見学に訪れました。

②9月26日 ジャイカ がいこく
方が施設見学に訪れました。

③④9月26日、30日、10
月4日木の実幼稚園が親子で
遠足に訪れました。

お知らせ ・1月24日(金) 大人のための野鳥観察会が行われます。

みぬま見聞館・自然庭園の見学について

みぬま見聞館・自然庭園を10名以上で見学または職員の案内を希望される場合は事前にご連絡ください。個人での来館もお待ちしています。

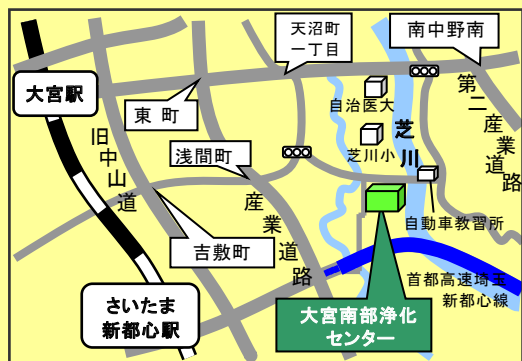
開館時間 9:00~17:00 **入館料** 無料

休館日 年末年始・毎月第4土曜日

住所 さいたま市見沼区大字上山口新田 508 番地 1

電話番号 048-646-6030 **FAX** 048-646-6033

※詳しくは、「みぬま見聞館」のホームページをご覧ください。



発行 さいたま市環境局施設部大宮南部浄化センター（みぬま見聞館）

この印刷物は環境に配慮したインクで印刷しています 印刷部数6,300部 単価11.7円

